34 あたり前のことをあたり前にする冊子印刷専門店
冊子印刷ドットコム
34insatsu.com

PDF入稿ガイドBOOK



冊子印刷ドットコムでは
PDF 入稿を推奨しております。
しかし PDF 形式であれば
どのようなものでも
印刷に対応している
というわけではありません。
「印刷に適した PDF」の
作成をお願いします。

入稿する際にぜひ
参考にしてくださいね。

分かりづらい点などあれば
お気軽にお問い合せください。

0120-7-34132（サッシ インサツ）
https://www.34insatsu.com/



冊子印刷ドットコムがお薦めする
PDF入稿のメリット

アプリケーションを選びません

印刷に適したPDFであれば、WindowsやMacintoshといったOSが異なる環境や、InDesignやIllustratorはもちろん、WindowsのWordやPowerPointなど作成したアプリケーションに関わらずに入稿することができます。

データサイズをコンパクトにすることができます

PDFは複数の画像データを一つのファイルにまとめ、さらに圧縮されるのでファイルサイズをコンパクトにすることができます。インターネットを経由した通信入稿に必要な時間が短縮されより早くデータ入稿ができます。

画像・フォントが埋め込まれます

データ入稿で画像の添付し忘れや、出力先に使用したフォントがなくて困ったということがなくなります。PDFなら画像が埋め込まれているので、画像のリンクミスは発生しませんし、文字化けや文字崩れといったデータトラブルも減りますので、データを渡す側・受ける側の確認作業は格段に減少します。

このように、PDF入稿はご入稿される方に大変メリットのある方法です。
PDFへの変換方法は簡単ですので、次ページの「PDFデータの作成方法」でご確認してください。

Win/Mac

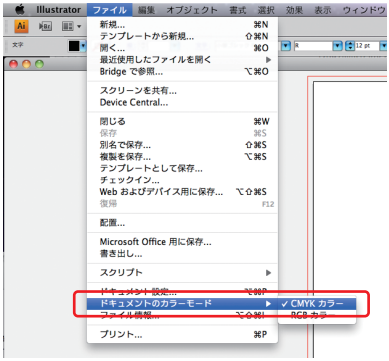
Ai Illustrator (CS3～CC) からPDF/X-4データの作成方法

仕上がりサイズのアートボードから作成する場合は6ページからご覧ください。

PDFに変換する前にドキュメントの設定を確認してください。

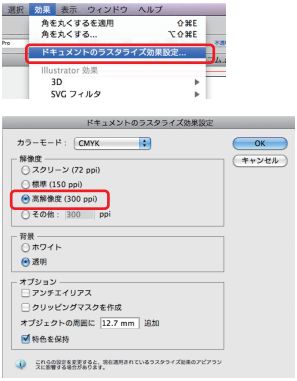
確認1 カラーモードの確認をします。

メニューから「ファイル」→「ドキュメントのカラーモード」→「CMYK カラー」を選択します。



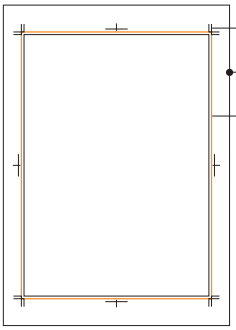
確認2 ラスタライズ効果設定を確認します。

メニューから「効果」→「ドキュメントのラスタライズ効果設定」を開き、「高解像度(300ppi)」を選択します。



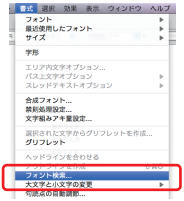
確認3 アートボードの設定をします。

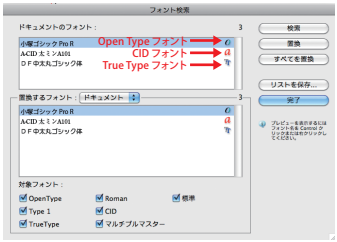
アートボードは仕上がりサイズよりひとまわり大きなサイズにし、アートボード内にトンボを作成します。
位置ズレの問題を防ぐため、トンボは必ずアートボードの中央に位置・サイズともに正確な数値を入力して作成してください。



確認4 使用中のフォントを確認します。

メニューから「書式」→「フォント検索」を選択します。



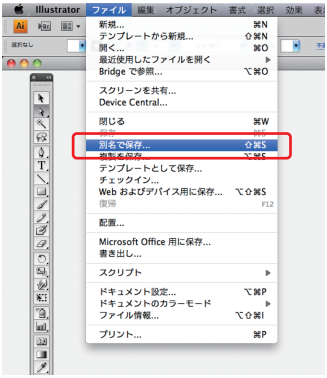


Open TypeとCIDフォントは埋め込み可能ですが、
Ture Typeフォントは埋め込みに対応していないフォントがありますので、**必ずフォントのアウトライン化**をしてください。
アウトライン化する場合はその前に必ず元データのバックアップを保存してください。

PDFに変換します。

変換 1 完成したファイルを「別名で保存」します。

メニューから「ファイル」→「別名で保存」を選択します。



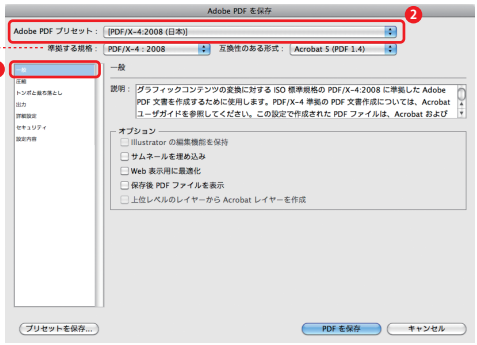
変換 2 フォーマットを「Adobe PDF (pdf)」にします。

ファイル名と保存場所を決め、
フォーマットを「Adobe PDF(pdf)」→「保存」をクリックします。



変換 3 PDFの規格を設定します。

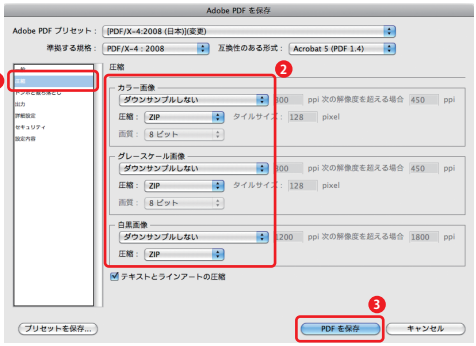
Adobe PDF プリセット：「PDF/X-4:2008（日本）」を選択します。
（CS3 は「PDF/X-4:2007（日本）」）



- 準拠する規格
  CS3〜CS5：PDF/X-4 2008
  CS6・CC：PDF/X-4 2010
- 互換性のある形式
  CS3〜CS5：Acrobat5（PDF1.4）
  CS6・CC：Acrobat7（PDF1.6）

変換 4 リンクファイルの圧縮の設定をして保存します。

すべての画像：「ダウンサンプルしない」を選択します。
すべての圧縮：「ZIP」を選択します。
→「PDF を保存」をクリックします。





「PDF を保存」をクリックするとこのようなダイアログが出る場合がありますが、そのまま「OK」をクリックして頂いてかまいません。

Illustrator（CS3〜CC）からPDF/X-4データの作成はこれで終了です。

Win/Mac

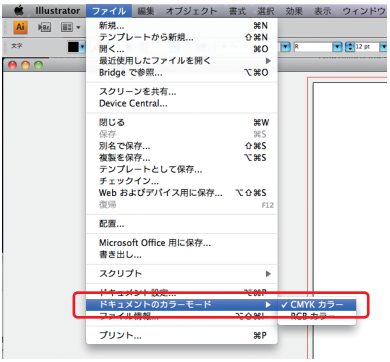
Illustrator (CS2) からPDF/X-1aデータの作成方法

仕上がりサイズのアートボードから作成する場合は6ページからご覧ください。
IllustratorCS2からPDFを作成する場合、配置した画像は必ず埋め込んでからPDFを作成してください！

PDFに変換する前にドキュメントの設定を確認してください。

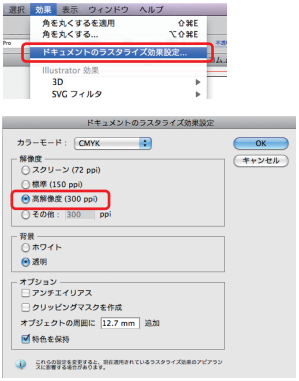
確認1 カラーモードの確認をします。

メニューから「ファイル」→「ドキュメントのカラーモード」→「CMYK カラー」を選択します。



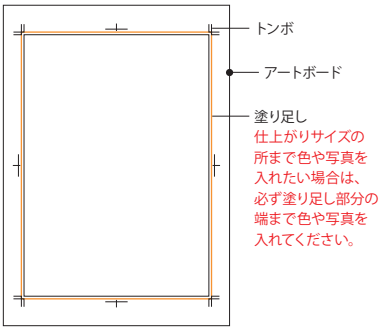
確認2 ラスタライズ効果設定を確認します。

メニューから「効果」→「ドキュメントのラスタライズ効果設定」を開き、「高解像度(300ppi)」を選択します。



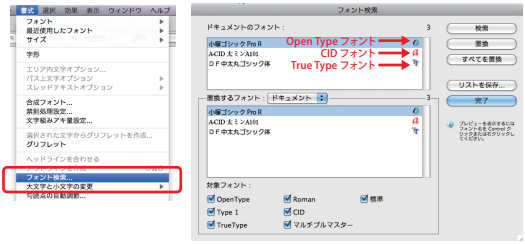
確認3 アートボードの設定をします。

アートボードは仕上がりサイズよりひとまわり大きなサイズにし、アートボード内にトンボを作成します。
位置ズレの問題を防ぐため、トンボは必ずアートボードの中央に位置・サイズともに正確な数値を入力して作成してください。



確認4 使用中のフォントを確認します。

メニューから「書式」→「フォント検索」を選択します。

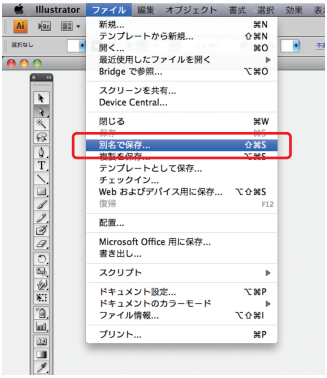


Open TypeとCIDフォントは埋め込み可能ですが、
Ture Typeフォントは埋め込みに対応していないフォントがありますので、**必ずフォントのアウトライン化**をしてください。
アウトライン化する場合はその前に必ず元データのバックアップを保存してください。

PDFに変換します。

変換1 完成したファイルを「別名で保存」します。

メニューから「ファイル」→「別名で保存」を選択します。



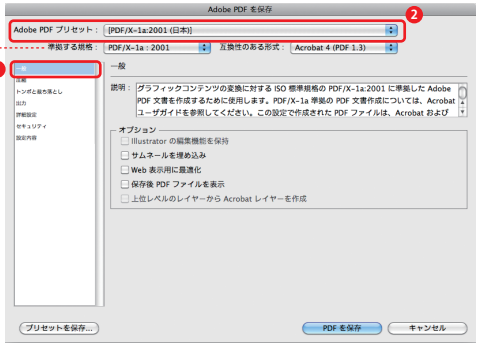
変換2 フォーマットを「Adobe PDF (pdf)」にします。

ファイル名と保存場所を決め、
フォーマットを「Adobe PDF(pdf)」→「保存」をクリックします。



変換3 PDFの規格を設定します。

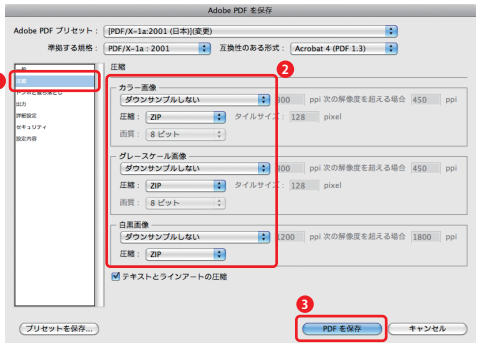
Adobe PDF プリセット：「PDF/X-1a:2001（日本）」を選択します。



- 準拠する規格：PDF/X-1a 2001
- 互換性のある形式：Acrobat4（PDF1.3）

変換4 リンクファイルの圧縮の設定をして保存します。

すべての画像：「ダウンサンプルしない」を選択します。
すべての圧縮：「ZIP」を選択します。
→「PDF を保存」をクリックします。





「PDF を保存」をクリックするとこのようなダイアログが出る場合がありますが、そのまま「OK」をクリックして頂いてかまいません。

Illustrator（CS2）からPDF/X-1aデータの作成はこれで終了です。

Win/Mac

Ai 仕上がりサイズのアートボードからPDFを作成する場合 (IllustratorCS2~CC)

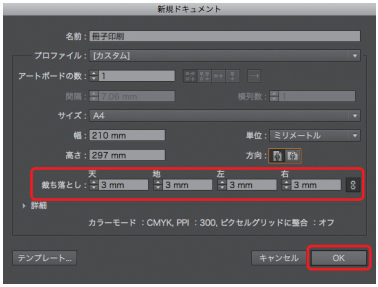
IllustratorCS2からPDFを作成する場合、配置した画像は必ず埋め込んでからPDFを作成してください！

仕上がりサイズのアートボードの設定

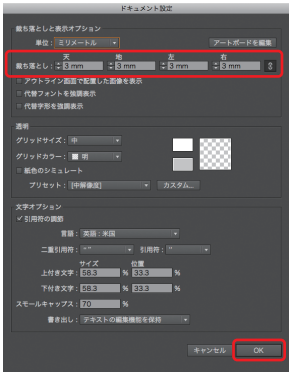
設定 1

アートボードの設定をします。

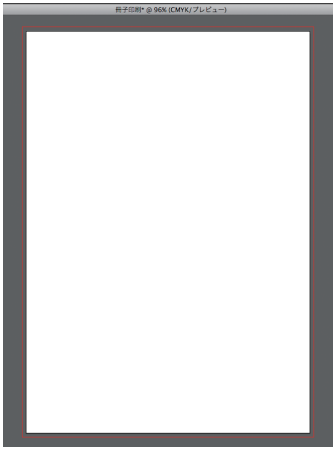
新規ドキュメントを作成する際「裁ち落とし」の天地左右全てを「3mm」に設定します（例：A4 サイズ）。



またはアートボード作成後、「ファイル」の「ドキュメント設定」から「裁ち落とし」の天地左右全てを「3mm」に設定します。



塗り足し込みのアートボードが作成されました。
アートボードから外の赤枠までの間が塗り足し部分になります。



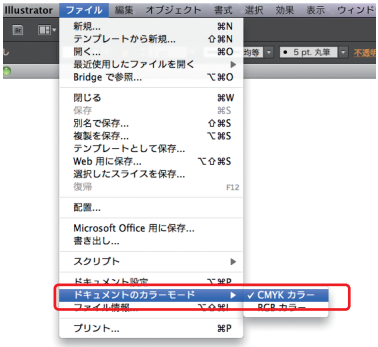
仕上がりサイズの所まで色や写真を入れたい場合は、
必ず塗り足し部分の端まで色や写真を入れてください。



PDFに変換する前にドキュメントの設定を確認してください。

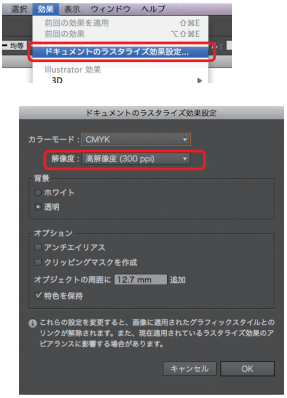
確認1 カラーモードの確認をします。

メニューから「ファイル」→「ドキュメントのカラーモード」→「CMYK カラー」を選択します。



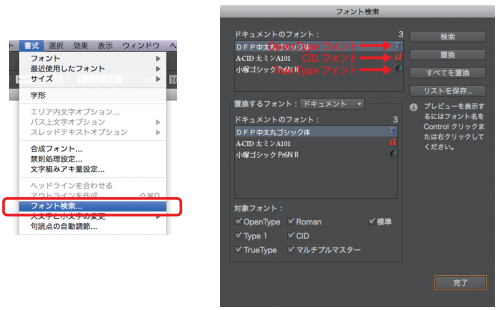
確認2 ラスタライズ効果設定を確認します。

メニューから「効果」→「ドキュメントのラスタライズ効果設定」を開き、「高解像度（300ppi）」を選択します。



確認3 使用中のフォントを確認します。

メニューから「書式」→「フォント検索」を選択します。

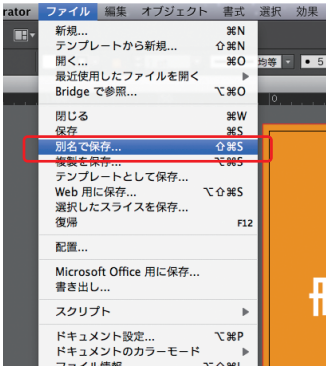


Open TypeとCIDフォントは埋め込み可能ですが、
Ture Typeフォントは埋め込みに対応していないフォントが
ありますので、**必ずフォントのアウトライン化**をしてください。
アウトライン化する場合はその前に必ず元データのバックアップを
保存してください。

PDFに変換します。

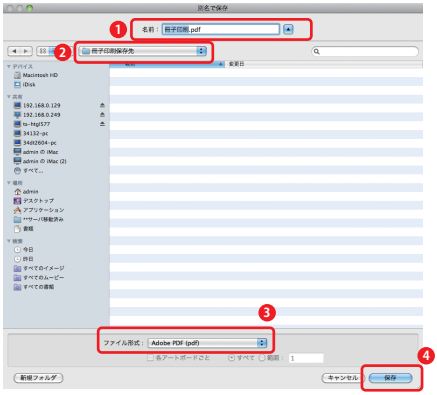
変換1 完成したファイルを「別名で保存」します。

メニューから「ファイル」→「別名で保存」を選択します。



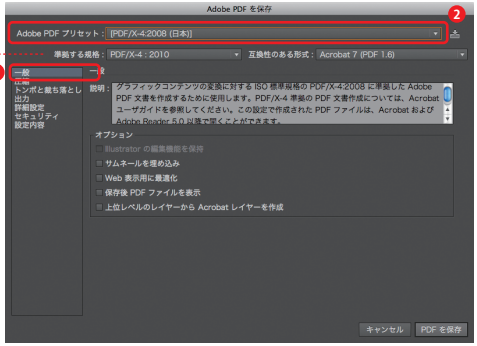
変換2 ファイル形式（フォーマット）を「Adobe PDF (pdf)」にします。

ファイル名と保存場所を決め、ファイル形式（フォーマット）を「Adobe PDF(pdf)」→「保存」をクリックします。



変換3 PDFの規格を設定します。

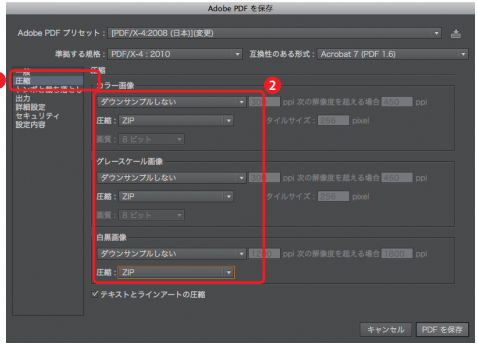
Adobe PDF プリセットを選択します。
CS2：「PDF/X-1a:2001（日本）」
CS3：「PDF/X-4:2007（日本）」
CS4〜CC：「PDF/X-4:2008（日本）」



- 準拠する規格
  CS2：PDF/X-1a 2001
  CS3〜CS5：PDF/X-4 2008
  CS6・CC：PDF/X-4 2010
- 互換性のある形式
  CS2：Acrobat4（PDF1.3）
  CS3〜CS5：Acrobat5（PDF1.4）
  CS6・CC：Acrobat7（PDF1.6）

変換4 リンクファイルの圧縮の設定をします

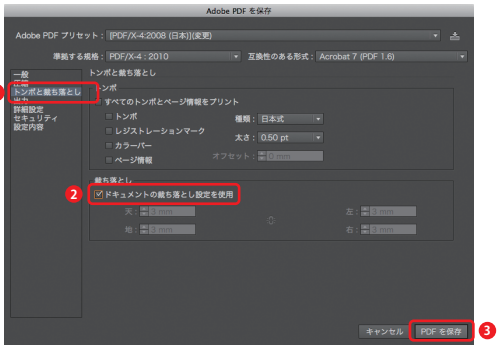
すべての画像：「ダウンサンプルしない」を選択します。
すべての圧縮：「ZIP」を選択します。



変換 5

裁ち落としの設定をして保存します。

塗り足しが必要な場合は「トンボと裁ち落とし」の「裁ち落とし」の
「ドキュメントの裁ち落とし設定を使用」にチェックを入れ、保存します。





「PDF を保存」をクリックするとこのようなダイアログが出る場合が
ありますが、そのまま「OK」をクリックして頂いてかまいません。

仕上がりサイズのアートボードからのPDFデータの作成はこれで終了です。

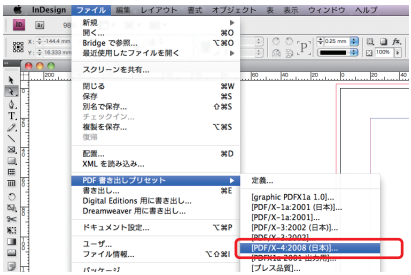
Win/Mac

InDesign (CS3～CC) からPDF/X-4データの作成方法

PDFを書き出します。

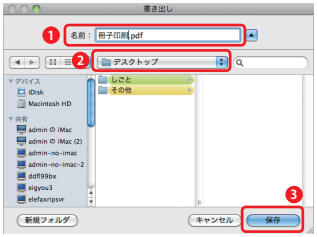
変換1 PDF書き出しの設定をします。

メニューから「ファイル」→「PDF 書き出しプリセット」→「PDF/X-4:2008（日本）」を選択します。
CS3 は「PDF/X-4:2007（日本）」を選択します。



変換2 保存場所を設定します。

ファイル名と保存場所を決め、「保存」をクリックします。



変換3 基本設定の確認をします。

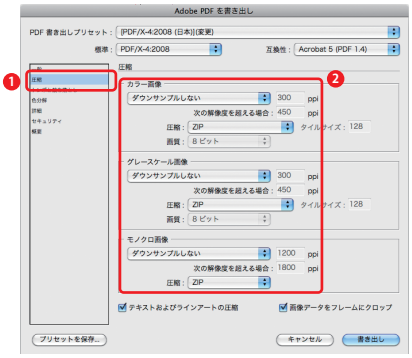
- Adobe PDF プリセット：「PDF/X-4:2008（日本）」
  CS3 は「PDF/X-4:2007（日本）」
- ページ：「すべて」



- 標準
  CS3～CS5：PDF/X-4:2008
  CS6・CC：PDF/X-4:2010
- 互換性
  CS3～CS5：Acrobat5（PDF1.4）
  CS6・CC：Acrobat7（PDF1.6）

変換4 リンクファイルの圧縮の設定をします。

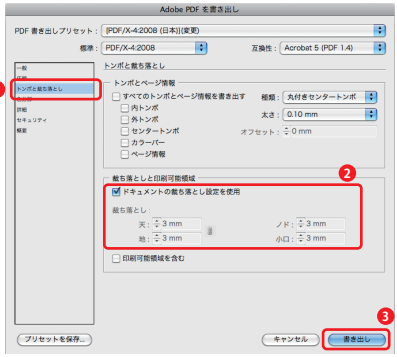
- すべての画像：「ダウンサンプルしない」
- すべての圧縮：「ZIP」

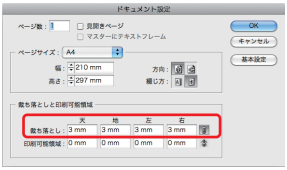


変換 5

裁ち落としの設定をして保存します。

「ドキュメントの裁ち落とし設定を使用」にチェックを入れます。





裁ち落としは**必ず3mm**必要です。
PDF作成の前にメニューから
「ファイル」→「ドキュメント設定」で
確認してください。

InDesign（CS3〜CC）からPDF/X-4データの作成はこれで終了です。

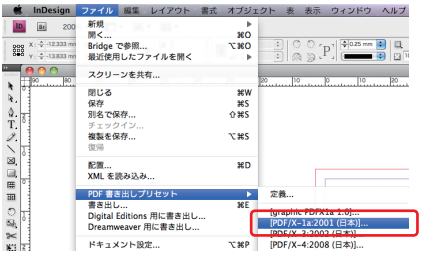
Win/Mac

InDesign (CS2) からPDF/X-1aデータの作成方法

PDFを書き出します。

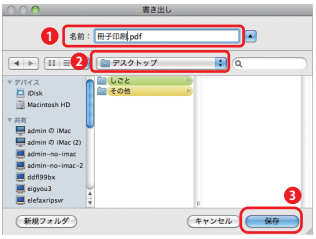
変換1 PDF書き出しの設定をします。

メニューから「ファイル」→「PDF 書き出しプリセット」→「PDF/X-1a:2001（日本）」を選択します。



変換2 保存場所を設定します。

ファイル名と保存場所を決め、「保存」をクリックします。



変換3 基本設定の確認をします。

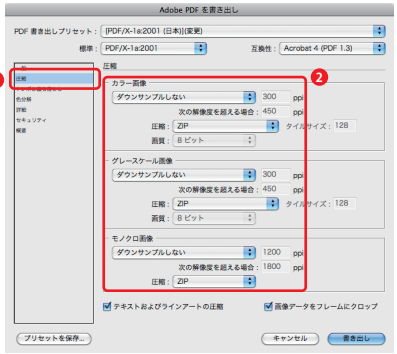
- Adobe PDF プリセット：「PDF/X-1a:2001（日本）」
- ページ：「すべて」



- 標準：PDF/X-1a 2001
- 互換性：Acrobat4（PDF1.3）

変換4 リンクファイルの圧縮の設定をします。

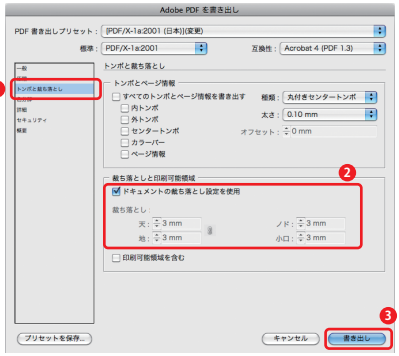
- すべての画像：「ダウンサンプルしない」
- すべての圧縮：「ZIP」

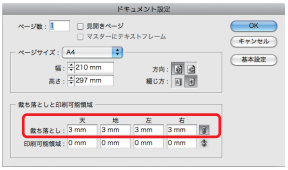


変換 5

裁ち落としの設定をして保存します。

「ドキュメントの裁ち落とし設定を使用」にチェックを入れます。





裁ち落としは**必ず3mm**必要です。
PDF作成の前にメニューから
「ファイル」→「ドキュメント設定」で
確認してください。

InDesign（CS2）からPDF/X-1aデータの作成はこれで終了です。

Win

Officeの編集作業で気をつけること

Office2007 編集ファイルの画像の自動圧縮を解消する方法

Office2007 以降の各アプリケーションの標準設定では高解像度の画像を配置しても
そのままファイルを保存してしまうと既定の解像度（標準では 220ppi）に圧縮されます。
さらに配置した画像を拡大してファイルを保存すると拡大した状態の解像度になり、
元の解像度には戻りません。その後の編集作業で画像の拡大・縮小を繰り返すことにより、
さらなる画像の劣化が発生するおそれがあります。

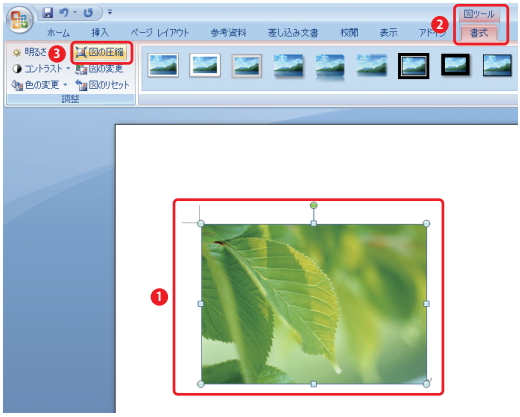
高解像度を維持したい場合は最初の画像を配置した時に圧縮しない設定をしてください。

「図の圧縮」で画像の自動圧縮を解消しましょう。

変換 1

WordやExcelで新規ファイルを立ち上げ、画像を配置します。

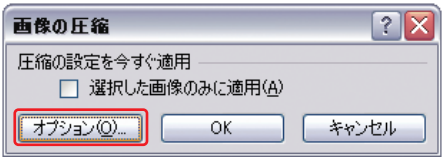
最初の画像を配置した後に行ってください。この時点でファイルの保存をしないでください。
画像を選択し、「図ツール」→「書式」を選択します。
「図の圧縮」を選択します。



変換 2

「画像の圧縮」ダイアログが開きます。

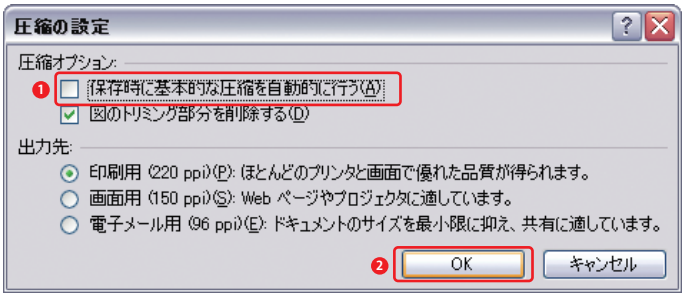
「オプション」を選択します。



変換 3

「圧縮の設定」ダイアログが開きます。

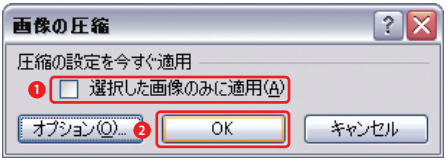
「圧縮オプション」:「保存時に基本的な圧縮を自動的に行う」のチェックを外します。
「OK」をクリックします。



変換 4

「画像の圧縮」ダイアログに戻ります。

「選択した画像のみに適用」に**チェックが入ってないことを確認します。**
「OK」をクリックします。



変換 5

編集ファイルを保存した後一旦ファイルを閉じ、再びファイルを開いて編集作業を再開します。

Office2007編集ファイルの画像の自動圧縮を解消する方法はこれで終了です。

※P18~22「Office から直接 PDF 作成する方法」で PDF を作成する場合、編集ファイルで 350ppi や 400ppi といった高解像度を維持しても、PDF 変換すると PDF の解像度は 220ppi に圧縮されます。

Win

Officeの編集作業で気をつけること

Office2010 以降の編集ファイルの画像の自動圧縮を解消する方法

Office2007 以降の各アプリケーションの標準設定では高解像度の画像を配置しても
そのままファイルを保存してしまうと既定の解像度（標準では 220ppi）に圧縮されます。
さらに配置した画像を拡大してファイルを保存すると拡大した状態の解像度になり、
元の解像度には戻りません。その後の編集作業で画像の拡大・縮小を繰り返すことにより、
さらなる画像の劣化が発生するおそれがあります。

高解像度を維持したい場合は編集作業の最初に画像を圧縮しない設定をしてください。

「オプション」で画像の自動圧縮を解消しましょう。

（画面は Word2013）

変換 1

WordやExcelで新規ファイルを立ち上げ「オプション」を選択します。

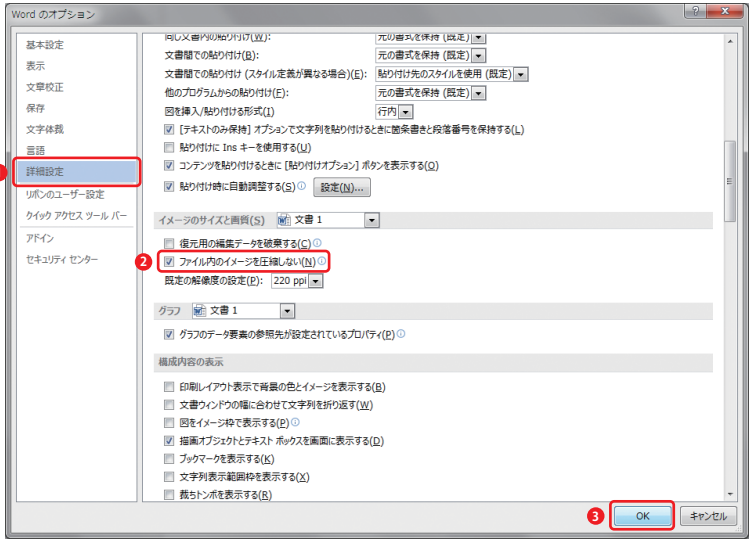
編集作業の最初に行ってください。



変換 2

「オプション」ダイアログが開きます。

「詳細設定」:「ファイル内のイメージを圧縮しない」にチェックを入れます。
「OK」をクリックします。



変換 3

新規ファイルに名前をつけて保存した後一旦ファイルを閉じ、再びファイルを開いて編集作業を開始します。

Office2010以降の編集ファイルの画像の自動圧縮を解消する方法はこれで終了です。

※P18〜22「Office から直接 PDF 作成する方法」で PDF を作成する場合、編集ファイルで 350ppi や 400ppi といった高解像度を維持しても、PDF 変換すると PDF の解像度は 220ppi に圧縮されます。

Win

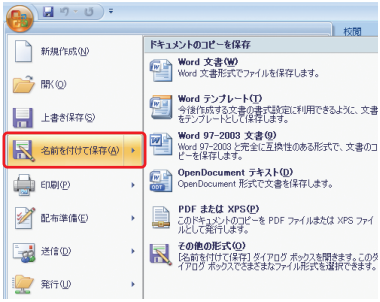
Office2007 から「名前をつけて保存」でPDF作成する方法

**この方法では解像度が220ppiにダウンサンプル（解像度低下）しますので、
PDFを作成する場合は、必ず作成したPDFの画像の解像度等に問題がないか確認してください。**

「名前をつけて保存」でPDFを作成しましょう。

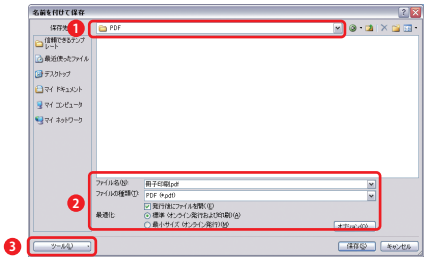
変換 1 PDF変換したいWordやExcelデータを開きます。

「Office ボタン」から「名前を付けて保存」を選択します。

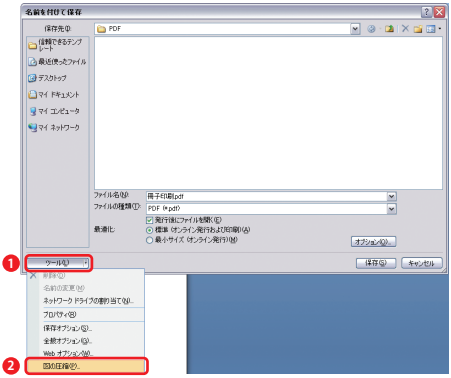


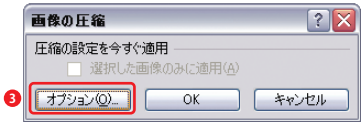
変換 2 ファイルの種類をPDFに設定します。

保存場所・ファイル名を決めます。
ファイルの種類：「PDF」を選択します。
最適化：「標準（オンライン発行および印刷）」を選択します。
「ツール」をクリックします。



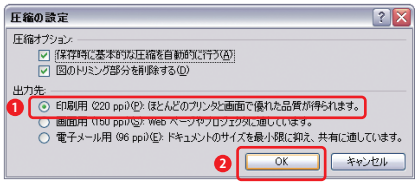
変換 3 「ツール」から「図の圧縮」を選択し、「オプション」を選択します。





変換 4 出力先を確認します。

「出力先」が「印刷用（220ppi）」になっているのを確認し、「OK」をクリックします。

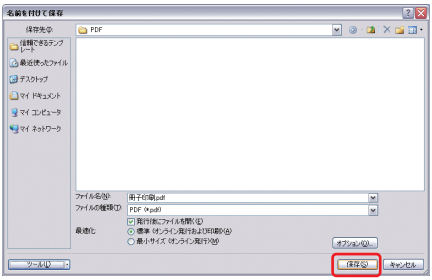


変換 5 「画像の圧縮」ダイアログにもどるので「OK」をクリックします。



変換 6 保存先とファイル名を確認し、PDFを保存します。

「保存」をクリックします。



Office2007から「名前をつけて保存」でPDFを作成する方法はこれで終了です。

Win

Office2010 から「名前をつけて保存」でPDF作成する方法

**この方法では解像度が220ppiにダウンサンプル（解像度低下）しますので、
PDFを作成する場合は、必ず作成したPDFの画像の解像度等に問題がないか確認してください。**

「名前をつけて保存」でPDFを作成しましょう。

変換 1 PDF変換したいWordやExcelデータを開きます。

「ファイル」から「名前を付けて保存」を選択します。



変換 2 ファイルの種類をPDFに設定します。

保存場所・ファイル名を決めます。
ファイルの種類：「PDF」を選択します。
最適化：「標準（オンライン発行および印刷）」を選択します。
「ツール」をクリックします。



変換 3 図の圧縮を設定します

「ツール」から「図の圧縮」を選択すると
「画像の圧縮」ダイアログが開きます。
解像度：「印刷用（220ppi）」を選択します。
「OK」をクリックします。



変換 4 PDFを保存します

「保存」をクリックします。



Office2010から「名前をつけて保存」でPDFを作成する方法はこれで終了です。

Win

Office2013 から「名前をつけて保存」でPDF作成する方法

**この方法では解像度が220ppiにダウンサンプル（解像度低下）しますので、
PDFを作成する場合は、必ず作成したPDFの画像の解像度等に問題がないか確認してください。**

「名前をつけて保存」でPDFを作成しましょう。

変換 1 PDF変換したいWordやExcelデータを開きます。

「ファイル」から「名前を付けて保存」を選択します。



変換 2 ファイルの種類をPDFに設定します。

保存場所・ファイル名を決めます。
ファイルの種類：「PDF」を選択します。
最適化：「標準（オンライン発行および印刷）」を選択します。
「ツール」をクリックします。



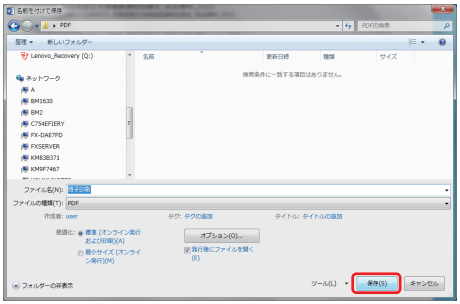
変換 3 図の圧縮を設定します

「ツール」から「図の圧縮」を選択すると
「画像の圧縮」ダイアログが開きます。
解像度：「印刷用（220ppi）」を選択します。
「OK」をクリックします。



変換 4 PDFを保存します

「保存」をクリックします。



Office2013から「名前をつけて保存」でPDFを作成する方法はこれで終了です。

Win

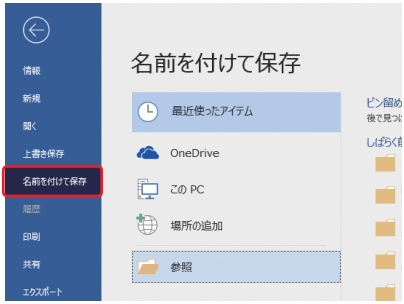
Office2016 から「名前をつけて保存」でPDF作成する方法

**この方法では解像度が220ppiにダウンサンプル（解像度低下）しますので、
PDFを作成する場合は、必ず作成したPDFの画像の解像度等に問題がないか確認してください。**

「名前をつけて保存」でPDFを作成しましょう。

変換 1 PDF変換したいWordやExcelデータを開きます。

「ファイル」から「名前を付けて保存」を選択します。



変換 2 ファイルの種類をPDFに設定します。

保存場所・ファイル名を決めます。
ファイルの種類：「PDF」を選択します。
最適化：「標準（オンライン発行および印刷）」を選択します。
「ツール」をクリックします。



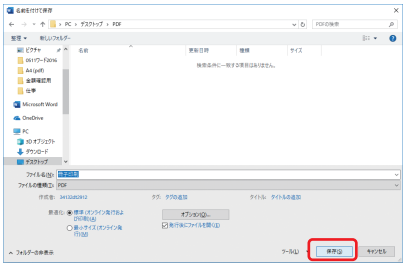
変換 3 図の圧縮を設定します

「ツール」から「図の圧縮」を選択すると
「画像の圧縮」ダイアログが開きます。
解像度：「印刷用（220ppi）」を選択します。
「OK」をクリックします。



変換 4 PDFを保存します

「保存」をクリックします。



Office2016から「名前をつけて保存」でPDFを作成する方法はこれで終了です。

Win

Office データを Adobe Acrobat でPDF作成する方法

「印刷」で圧縮なしのPDF/X-1a設定のPDFを作成しましょう。

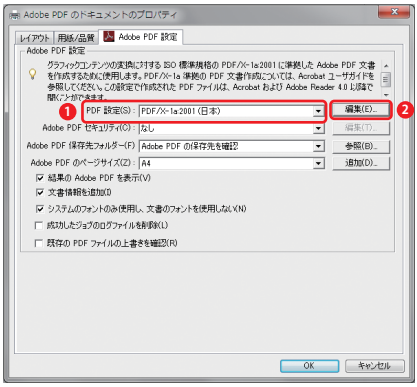
変換1 PDF変換したいWordやExcelデータを開き、「印刷」からPDFを作成します。

「ファイル」から「印刷」を選択します。
「プリンター」から「Adobe PDF」を選択します。
「プリンターのプロパティ」をクリックします。



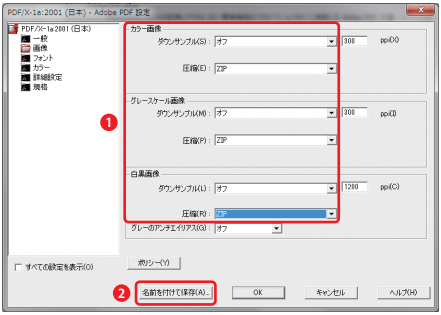
変換2 圧縮なしのPDF/X-1a設定を作成します。

「PDF 設定」から「PDF/X-1a:2001（日本）」を選択し、
「編集」をクリックします。



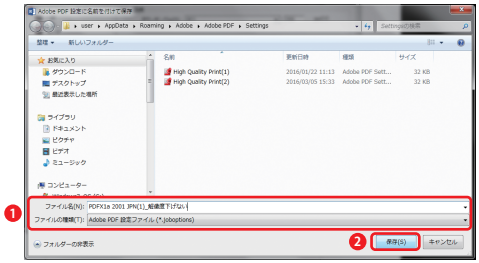
変換3 元のPDF/X-1aの設定を変更します。

ダウンサンプル：全て「オフ」にします。
圧縮：全て「ZIP」にします。
「名前を付けて保存」をクリックします。



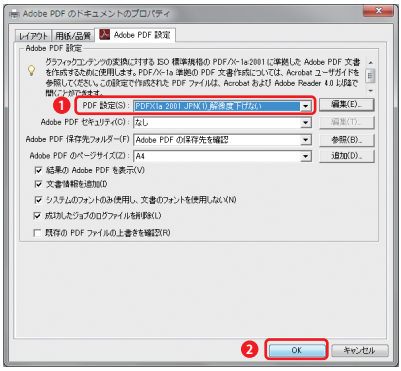
変換4 変更したPDF/X-1a設定を別名保存します。

名前を付けて保存します（下のファイル名は一例です）。



変換 5 圧縮なしの PDF/X-1a 設定になっていることを確認し、「OK」をクリックします。

次回からは「変換②」の段階で圧縮なしの PDF/X-1a 設定を選択できます。

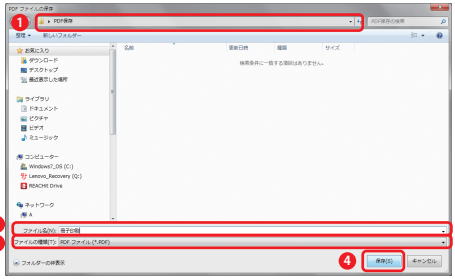


変換 6 「印刷」をクリックします。



変換 7 PDF データを保存します。

保存先を決めます。
ファイル名：名前を付けます。
ファイルの種類：「PDF ファイル」であることを確認します。
「保存」をクリックします。



OfficeデータをAdobe AcrobatでPDF作成する方法はこれで終了です。

Mac

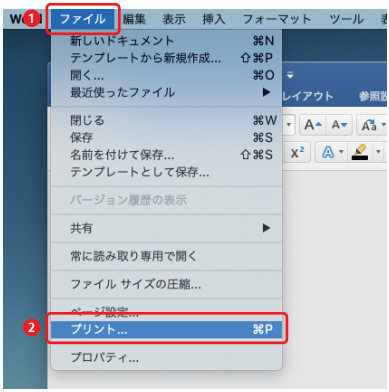
Office データを PostScript ファイルからPDF作成する方法

Macintosh版Officeで作成したファイルを「名前を付けて保存」や「プリント」の「PDFとして保存」でPDF変換された入稿データの場合、印刷用データ作成時に不具合が発生することがありますので、Macintosh版OfficeデータをPDFにする場合、まずはPostScriptファイルを作成していただき、PostScriptファイルから再度PDFに保存し直したデータを入稿してください。

まずは、PostScriptファイルを作成しましょう。

変換 1 PDFに変換したいOfficeファイルを開き「ファイル」→「プリント」を選択します。

「ファイル」を選択します。
「プリント」を選択します。



変換 2 「PostScript として保存」で PostScript データを作成します。

「PDF」を選択します。
「PostScript として保存」を選択します。
「プリント」をクリックします。

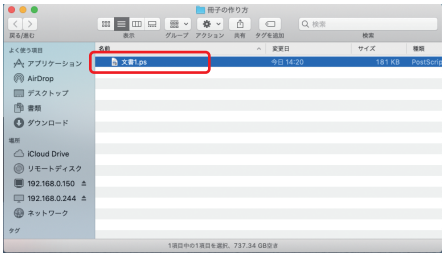


変換 3 名前をつけて保存します。

名前をつけます。
保存先を決めます。
「保存」をクリックします。



変換 4 保存したPostScriptファイルをダブルクリックしてプレビューで開きます。



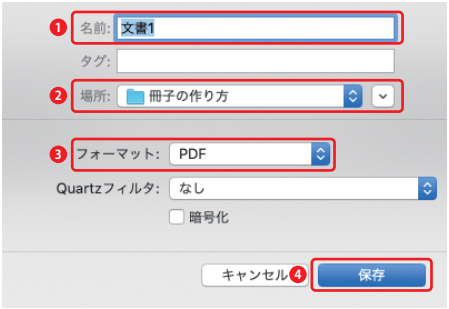
変換5 「ファイル」→「保存」を選択します。

「ファイル」を選択します。
「保存」を選択します。



変換6 名前・保存先を決め、PDF データを保存します。

名前：名前を決めます。
場所：保存先を決めます。
フォーマット：「PDF」を選択します。
「保存」をクリックします。



OfficeデータをPostScriptファイルからPDF作成する方法はこれで終了です。

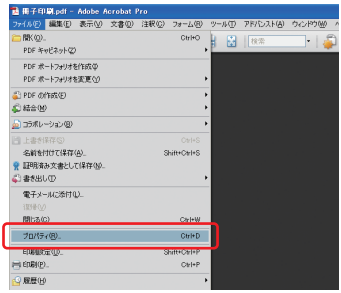
Win/Mac

Adobe Acrobat／Adobe Reader でのPDF確認方法

作成したPDFの確認をします。

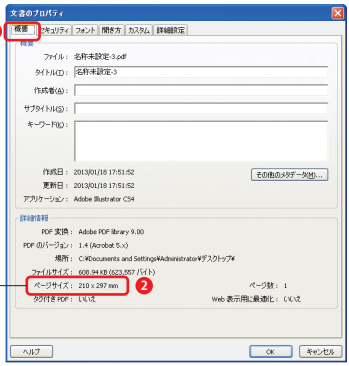
確認 1 Adobe AcrobatかAdobe Readerで PDFを開きます。

メニューから「ファイル」→「プロパティ」を選択します。



確認 2 プロパティダイアログが開きます。

「概要」タブでページサイズの確認をします。
塗り足しが必要な場合は塗り足し込みのサイズが必要です。



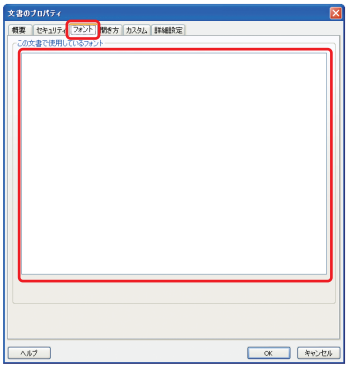
〈例〉A4 の場合
塗り足しなし：210×297 mm
塗り足しあり：216×303 mm

※全ページのサイズを統一してください。

確認 3 フォント埋め込みを確認します。

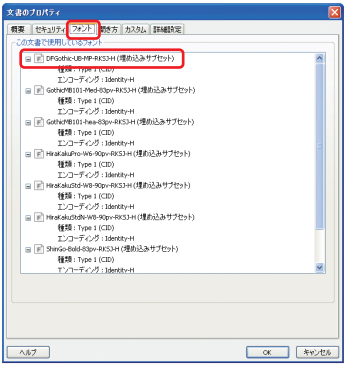
○全てのフォントがアウトライン化されている場合

「フォント」タブを選択します。
PDF 作成元のデータのフォントが全てアウトライン化されていれば下図のように何も無い状態に表示されます。



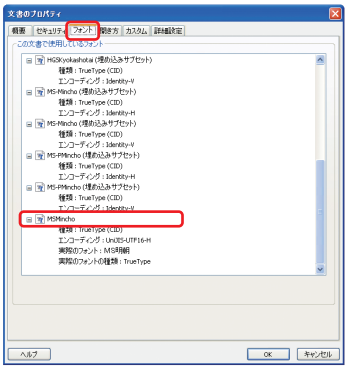
○全てのフォントが埋め込まれている場合

全てのフォントの後ろに（埋め込み）か（埋め込みサブセット）と入っていれば OK です。



✕フォントが埋め込まれていない場合

フォント名の後ろに（埋め込み）か（埋め込みサブセット）が
入っていないものが１つでもある状態ですと、
そのフォントに文字化けが発生するため、印刷には適しません。



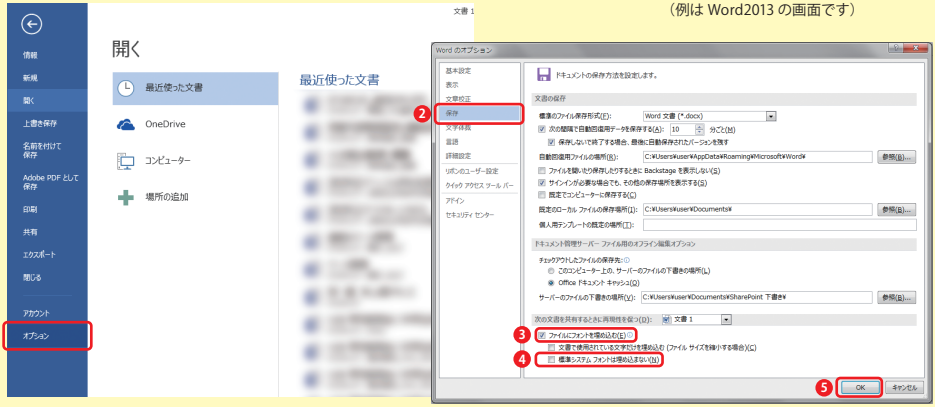
確認 4 文字ズレ・画像ヌケを確認します。

作成元のデータが正常でも PDF 変換することで
作成した PDF に文字ズレや画像ヌケが
発生することがあります。
異常の有無を１ページずつ確認しましょう。

Win

Word から「名前をつけて保存」で PDF を作成する場合、「Arial」や「Times New Roman」などのシステムフォントが埋め込まれないことがあります。
Word「オプション」→「保存」の「ファイルにフォントを埋め込む」にチェックを入れ、「標準システムフォントは埋め込まない」のチェックをはずしてから PDF 作成を試みてください。

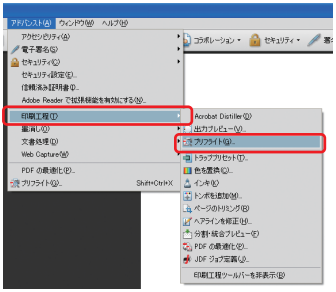
（例は Word2013 の画面です）



Adobe Acrobatのみ　PDF/X-4形式で作成したPDFのPDF/X-4準拠の確認作業。

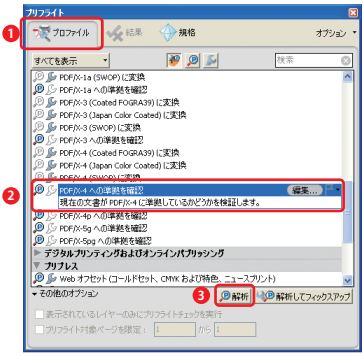
確認5　PDF/X-4に準拠しているか確認します。

メニューから「アドバンスト」→「プリフライト」を選択します。



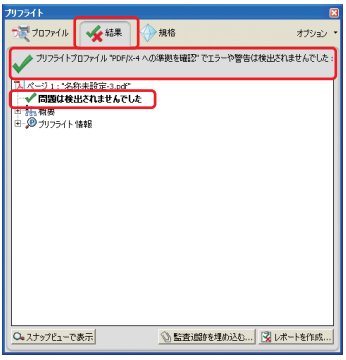
確認6　プリフライトダイアログが開きます。

→「プロファイル」タブを選択します。
→「PDF/X-4 への準拠を確認」を選択します。
→「解析」をクリックします。



確認7　「結果」タブが開きます。問題がなければ下図のような表示になります。

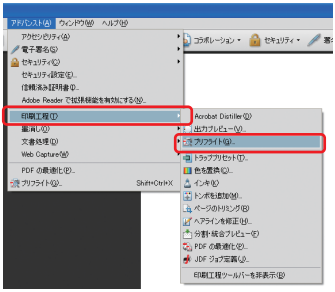
「問題は検出されませんでした」と表示されれば、
PDF/X-4 に準拠しています。



Adobe Acrobatのみ　PDF/X-1a形式で作成したPDFのPDF/X-1a準拠の確認作業。

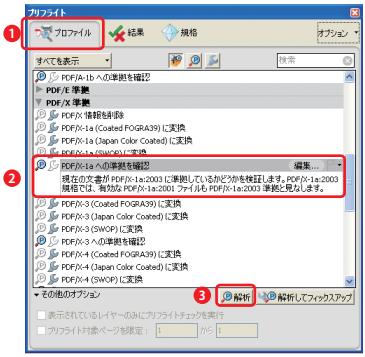
確認8　PDF/X-1aに準拠しているか確認します。

メニューから「アドバンスト」→「プリフライト」を選択します。



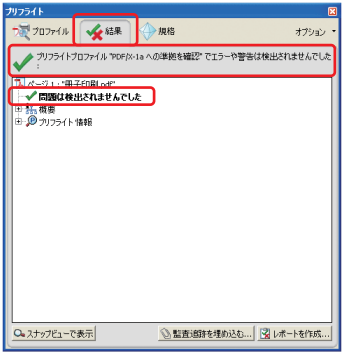
確認9　プリフライトダイアログが開きます。

→「プロファイル」タブを選択します。
→「PDF/X-1a への準拠を確認」を選択します。
→「解析」をクリックします。



確認10　「結果」タブが開きます。問題がなければ下図のような表示になります。

「問題は検出されませんでした」と表示されれば、
PDF/X-1a に準拠しています。



これでPDF確認作業は終了です。

34 あたり前のことをあたり前にする冊子印刷専門店
冊子印刷ドットコム
34insatsu.com
https://www.34insatsu.com/

フリーダイヤル　サッシインサツ
0120-7-34132
TEL 050-353-34132
FAX 0742-35-7223
E-mail info@34insatsu.com

ISO/IEC27001 認証取得
株式会社春日は
情報セキュリティマネジメントシステムの
認証を取得しています。